南知多町の教育を考える会（みんなでつくる！教育わくわく会議）の結果報告について

日　時　令和８年１０月１８日（日）
　　午後１時３０分
場　所　南知多町総合体育館
　　サブアリーナ、柔剣道場

参加：３９名　託児：９名

１．「南知多町の子どもの様子」と「『小中一貫教育』ってどんな教育？」について

・プレゼンテーションによる説明。





託児の様子

２．みんなで話そう：「『子どもたち』を、どんな『学校』に通わせたい？」について

①子どもたちを「通わせたい学校」に関する意見　※参加者が付せん紙に自分の意見を記入

・地域に愛着や誇りをもてるような学校
・上下関係がほどよく、学校全体が仲よくできる学校
・子どもが集中して、意欲的に学習に取り組むことのできる学校
・地域の人も使える、美しく近未来的な図書館がある学校
・先生方の指導力や工夫を思う存分発揮できる学校
・子どもたちが「ここに通いたい」と思える学校
・南知多町の行事を大切にして、一人一人が輝ける学校

など



②グループで出された意見を発表　※グループで一枚の用紙にまとめる

・挨拶のできる学校　　・いじめのない学校
・子どもがのびのびと過ごし、感性を磨くことができる。また、社会に出たときにたくましく、しっかりと生きていける力を育てられる学校。
・子どもたちが登校したくなる学校、一人一人が主人公になれる学校
・自然、地域を生かした日本・愛知・知多で唯一の学校
・地域との関わりをたくさんできるような学校

など



③全体での意見交流

・南知多中になって不登校が増えたと聞く。とにかく楽しい学校にしてほしい。（参加者）

・本当に小中一貫教育の学校（新校舎）の建設が可能なのか。予算面では大丈夫か。（参加者）

⇒令和１５年度の開校を目指して新校舎を建設する方針は決定していますが、学校の形態として小中一貫校にするかどうかは確定しておらず、今後の小中学校の在り方を検討する上での選択肢の一つとして捉えています。また、物価高騰など厳しい財政環境にありますが、財政計画上の工夫や検証を重ねながら、財政に無理のない確実な建設を進めていきます。（教育委員会）

・子どもたちを通わせたい学校について、夢を語っていても仕方がない。もっと具体的な話をした方がよい。

⇒今後も住民の皆様や保護者の皆様、学校関係者など多様な立場の方からご意見を伺う機会を設け、小中一貫校などの方針について段階的に検討を進めていきます。（教育委員会）





３．感想等（まとめ）

①「南知多町の子どもたちの様子」（資料Ｐ２～１１）から、感じたことや考えたこと、疑問に思ったことなどをご記入ください♪

・タブレットでの教育については、スウェーデンや他国でも脳や眼に負担や知能低下、集中力や考える力の低下につながる結果が出て廃止となったそうで心配がある。個人的には無くす、又は危険性を十分伝えた上で、使用への注意を子どもたちに教えてほしい。
・それぞれの地区でつくってきた行事等が、学校が統合されていく中で消滅されていくことになったら、寂しいなと感じました。
・最後にある保護者の方が、「町や教育委員会が新中学校（＋小学校）の青写真を作ろうとしている段階で抽象的な意見を出しても意味がない」とも言われました。なるほど～～。具体的な話し合いにならなかったです。
・取り上げられている内容が断片的すぎると思います。
・各学校いろいろと考えて取り組んでいる様子が、とてもよく分かりました。
・各学校いろいろ取組みをしている事は分かるが、以前、回覧版などで中学校の通信で「行事など」読む機会があったが、統合により無くなったと思うので、中学校の様子が分からない。
・「南知多町がめざす児童生徒像」の教育が形成されているように思いました。

・校外学習が多く見られますが、座学の基礎はしっかりできているのでしょうか。
⇒今回は、校外学習や行事など、各校の特色ある活動を紹介させていただきました。国語や算数など、各教科の学習については、基礎・基本がしっかりと身に付くよう、町内各校で授業が進められています。またの機会に、教室での学習の様子もお伝えできたらと考えています。

・地域ごとに特色あるものを生かした学校にどのようにしてできるのか。
⇒町内には小学校が５つあり、令和９年度に中学校は一つとなります。小学校では、地域と関わりのある行事等に参加したり、地域の方をゲストティーチャーとして授業に招いたりして、１年生から段階的に地域について学んでいます。そういった学習活動では、地域ごとの特色を生かした授業が展開されており、子どもたちは地域に対する理解を深めています。
中学校では、「総合的な学習の時間」に「南知多探究学習」というテーマの学習を行っています。この学習では、小学校で学んだことを生かし、自分たちが住む地域を見つめ直します。そして、中学３年生では、「町の未来に役立つアイデア」を提案する活動を行います。このような活動をさらに充実させられるような学校をつくっていきたいと考えています。

②「小中一貫教育」（資料Ｐ１１～１２、１４～１５）について、感じたことや考えたこと、疑問に思ったことなどをご記入ください♪

・日本にある小中一貫型のフリースクール等へ教育委員会の方々で視察に行ったり、参考にされていって頂きたいなと思いました。きの国学園、徳島の神山町　まるごと高専（高校ですがおもしろいです)、東浦の緒川小のカリキュラムもおもしろいです。
・現在ある小学校の校舎は、耐震工事がしてあるはずです。できれば、まだまだ使ってほしいです。
・小中一貫教育のよさを見つけることはできなかったです。
・小中一貫教育は、中１ギャップの解消はできるが、小１ギャップが課題になると思います。小１ギャップ対策の時間割りに捉われない期間を設けるなど、きめ細かな視点が必要と考えます。
・小中一貫は少子化の現状、取り入れざるを得ないかなと個人的には思いますが、やはり問題も出てくるかと思います。できるだけ考え得る問題点を前もって潰しておく必要性があるかなと思います。
・まだまだ馴染みのない感じがしました。選択の一つと考えていると書いてありますが、早く教育方針を明確にしてほしいです。
・今後通う保育所保護者にアンケート､意見を求めてみてはどうでしょうか。一貫により先生方は、どのような教育をするか、今、考えている例など聞きたかった。

・小中一貫校を選択肢の一つにするというのは豊浜小もしくは半島側だけの話なのですか、島の子たちも同じなのですか。
・小中一貫は、どの地域までが対象なのか。両島の生徒たちはどうなるのか。
⇒令和９年度、中学校が一つとなります。そのため、小中一貫教育を取り入れるとしたら、南知多中学校と、篠島小学校と日間賀小学校を含めた五つの小学校となります。たとえ施設が離れていても、教育内容に一貫性をもたせることは可能です。
※令和１５年度開校予定の新校舎については、令和８年度１０月現在、南知多中学校と豊浜小学校が移転することのみが決まっています。

・現在、きずなの会他で、小５の稲米の勉強（苗植、観察会、稲刈、脱穀)、年２回の避難訓練などのサポートをしています。統合した場合のサポート体制はどうなりますか。統合した地区のサポートですか。町全体のサポートですか。
⇒令和８年度１０月現在、小学校の統合について、住民の方々の意見を聞いている段階であり、決まっていることはありません。統合した場合のサポート体制は、内容によって決めていくことになると思います。現在、南知多中学校には、「南知多中学校コミュニティ・スクール」があり、生徒と地域をつなぐ活動をしています。その活動により、生徒たちは地域の避難訓練やお祭りなどにボランティアとして参加したり、生徒が地域で活躍する人たちの「生き方」から学ぶ機会（キャリア教育）をつくったりしています。今後も、よりよいサポート体制を地域の方々と共に築いていければと考えています。

③「『子どもたち』を通わせたい学校」について、グループや全体での意見交流を通して感じたことや考えたこと、疑問に思ったことなどをご記入ください♪

・それぞれの方の想いがとっても感じられました。
・もっとみんなでお話する時間がほしかったです。
・例えば、１００人から話を聞いて多数集まった意見、真ん中の意見を採用しても、おもしろいもの、唯一無二のものはできない。新しい革新的なものづくりをするとき、こうしたら失敗するというのは「１０人に意見を聞くこと」と言われます。革新的リーダーのリーダーシップが見たいです。
・将来的にやはり年の多い方から今現在子育て世代の方々皆いろんな意味で心配しているように思います。
・町の未来を考える大事な会議とのことで参加しましたが、１つ意見を出しただけで終わり、わざわざ集まる必要あったのかなと思いました。最後、この会議に参加してモヤモヤしてると意見が出てましたけど、同意しかありません。誰のどんな意見が聞きたかったのでしょうか。青写真を描くための意見なら子どもたちに聞いたほうがまだよかったのではという内容でした。
・今回の内容ができていたと思いました。子育て中の人は知っているが、地域の人が知らない温度差があると思いました。
・明るく楽しい学校はもちろん願う事だが、子どもが「親友ができた」「自分がやりたいことが見つかった」など思える学校がよいと思います。

・学校に行けない子どもに、学校はどのようなサポートしているか。
⇒学級担任等による個別の支援や、スクールカウンセラー（ＳＣ）と相談する機会を設けること、スクールソーシャルワーカーと（ＳＳＷ）と連携して支援することなど、さまざまな立場から、学校にいけない子（不登校の児童生徒）をサポートする体制をつくっています。また、「リフレッシュスクール」という町の教育支援センターが役場の敷地内にあり、学校以外の居場所づくりを支援しています。

・今日話し合ったことが、小中一貫校にするかどうかの判断にどう結び付くのか。
⇒今回の第１回「みんなでつくる！教育わくわく会議☆彡」は、住民の方々に「小中一貫教育」のことを少しでも知ってもらう機会をつくりたいと考えて開催しました。令和８年１０月現在、「小中一貫教育」を取り入れることは、あくまでも選択肢の一つです。今後、住民の方々には「小中一貫教育」への理解をさらに深め、取り入れるべきかどうかについての意見を聞かせていただきたいと思います。そのような機会をつくるために、本会議をまた計画したいと考えています。

・１グループの人数が多かった。４、５人くらいが話しやすかったのではないか。
⇒今後、グループワークの場を設ける際には、人数や意見交換の時間を工夫し、一人一人がしっかりと発言できる機会を確保したいと考えています。

④今後の「みんなでつくる！教育わくわく会議☆彡」に期待することや、皆でもっと話し合いたいことなどをご記入ください♪

・全然話したりなかったです。もう少し話し合いの時間があってほしいです。（３）
・「話し合う会をもちました」で終わりにしないでください。
・実際の保護者世代の参加が増えるとよいと思います。
・小中再建プロジェクトと、本わくわく会議の今後のロードマップを示す必要があると感じた。全体スケジュールがないため、最後の意見がなされたと考えます。
・今日は大変お疲れ様でした。内容も良く、参加者も約４０名とよかったです。今日感じた事は、次の３点「１．全体の時間が短過ぎる。私のグループは７名中、２名が自分の意見が言えなかった」「２．最初に『教育わくわく会議』の全体の説明をして、今日は第１回目、後も続きますと説明したらよかったと思います」「３．参加者は多かったですが、今の児童・生徒の保護者を多く参加させる工夫をしてほしい」
・学校という閉鎖的な所をやはりもう少し風通しよくして、地域の方にも、学校に対して関心をもって頂けるように今回の会を運営していって欲しいです。
・全世代での意見を聞きたいというのであれば、世代で日程を分けた方が意見を言いやすいと思いました。
・町民全体が小中一貫校について、もっと知ることが大事だと思いました。絶対に校舎を完成させてほしいと思いました。
・今、学校に通わせている親、保育所の保護者がもっと会議に参加して意見を述べ、先生方も参加する会議にしてほしい。
・この会議のタイトルが、「わくわく会議」と型にはまってなく、参加し易い雰囲気でよいと思います。また、開催を今回の様に他のイベントと重ねたのはよいと思います。参加者が増えたと思います。

⇒時間が足りなかったという意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。
次回の会議には、もう少し具体的な内容に進んで意見交換をしたいと考えています。
ぜひ、ご参加ください。